

令和5年7月7日

青森市政記者会 様

青森市企画部企画調整課長

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）展覧会の開催について（情報提供）

このことについて、青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）から別添資料のとおり情報提供がありましたのでお知らせします。

なお、詳細につきましては、別添資料の青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）の担当者にご連絡くださるようお願いいたします。

【担当】

青森市企画部企画調整課

主幹 工藤、主事 佐藤

TEL : 017-734-2247 FAX : 017-734-5129

青 公 大 総 号 外

2023 年 7 月 7 日

青森市政記者会 様

公立大学法人青森公立大学

理事長 石川 浩明

(公印省略)

青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]
展覧会の開催について (ご案内)

平素より青森公立大学国際芸術センター青森[ACAC]の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度 ACAC で実施する下記の事業について、ご案内致します。事業に関して開催告知広報物をお送りしますので、取材・報道にご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

「エナジー・イン・ルーラル」

アーティスト・イン・レジデンス：2023 年 4 月—9 月

展示期間： 開場時間 10:00-18:00、会期中無休

(第一期) 7 月 8 日 (土) —8 月 3 日 (木)

(第二期) 8 月 11 日 (金・祝) —9 月 24 日 (日)

概要：イタリアのアーティスト・イン・レジデンス実施団体インテルゾーナ文化協会およびリミナリア フェスティバルとの共同企画。キュレーター・アーティストのべ 11 組による、南イタリアと青森の地で見出すエナジーに注目し、それぞれの表現者が互いの場所での滞在を通して制作された作品の展覧会およびイベントの開催。サウンド、写真、映像、香りなど様々な表現で、土地のエナジーの再解釈を促します。

【連絡先】

青森公立大学 国際芸術センター青森

〒030-0134

青森市大字合子沢字山崎 152 番地 6

TEL：017-764-5200 FAX：017-764-5201

アーティスト・イン・レジデンス プログラム

「エナジー・イン・ルーラル」 | Energies in the Rural

レジデンス期間 | 2023 年 4 月—9 月

展覧会 第一期 | 7 月 8 日(土)—8 月 3 日(木)

第二期 | 8 月 11 日(金・祝)—9 月 24 日(日)

アーティスト | ニコラ・ディ・クローチェ、三原聡一郎、大城真、梅沢英樹、藤倉麻子、大和田俊、フェルナンド・ゴドイ、フィリップ・サマルティス、ダニエラ・ダリエリ

キュレーター | 四方幸子、レアンドロ・ピサノ、村上綾(ACAC 学芸員)



Design: 加瀬透

■ 青森とイタリアを結ぶ 3 か年のプログラムの集大成！

エナジー・イン・ルーラル(以下 EIR)はイタリアのアーティスト・イン・レジデンス実施団体インテルゾーナ文化協会およびリミナリアフェスティバルと ACAC との共同企画です。レジデンスプログラム、展覧会、トーク、パフォーマンス、出版など、複合的なコミュニケーションの場を設け、実施される 3 か年のプログラムです。

2021 年から 3 名の共同キュレーターの議論を軸に、2022 年度には日本からの派遣(三原聡一郎、四方幸子)、イタリアから日本でのリモートレジデンスの参加(ニコラ、ディ・クローチェ、レアンドロ・ピサノ)を行い、互いの地と人のコミュニケーションを図ってきました。

2023 年度は、EIR の最終年度として、キュレーター・アーティストのべ 11 組が参加し、それぞれの表現者が互いの場所での滞在を通して制作された作品発表を行い、南イタリアと青森の地で見出すエナジーに注目して行われる、サウンド、写真、映像、香りなど様々な表現で、土地のエナジーの再解釈を促します。

作品発表は 2 期に分かれ、第一期には 2022 年度以前から青森あるいは南イタリアでの滞在制作を経験してきたアーティストの作品発表を行います。第二期では、2023 年以降に青森でのレジデンスプログラムに参加したアーティストの制作発表を行います。

【お問合せ】 青森公立大学 国際芸術センター青森:村上

Tel: 017-764-5200 Fax: 017-764-5201 Mail: acac-1@acac-aomori.jp

Web: <https://acac-aomori.jp/>



Aomori Contemporary Art Centre
国際芸術センター青森

■ 参加アーティスト紹介

三原 聡一郎

近年、空気さらには香りを制作のメディアとして注目する三原聡一郎は、2022 年度の南イタリア滞在で経験した農地での暮らしや、人の感覚がその土地性と別れがたく結びつく様子を実感しました。滞在中に完成を遂げた、現地でその日に発生した有機物を焚く香りのパフォーマンス《L' aria del giorno(本日の空気)》を青森で発表し、南イタリアと青森の有機物も併せて使用するパフォーマンスでは、その土地の固有性を再生し、遠く離れた 2 つの固有の地の交点を生み出していきます。

([イベント①](#)参加)



三原聡一郎《L' aria del giorno(本日の空気)》
2022 Photo: Sabrina Caramanico

ニコラ・ディ・クローチェ

ニコラ・ディ・クローチェは、2022 年度からリモートで青森市民へのインタビューを続け、地域の音風景をうかがい知る中で、青森に住む人たちと地域の間起きる違和や愛着を知ることになりました。2023 年 6 月下旬から滞在と、サウンドインスタレーションの制作発表で、領域(territory)と残響(resonance)をキーワードに「田舎(地方都市)」と画一的に括られがちな土地に存在する関係性の多彩さを音によって紐解こうとしています。

([展覧会第一期、第二期](#)、[イベント①](#)参加)



ニコラ・ディ・クローチェ
《I resonate with atmposphere /
Atmosphere resonates with me》
2022 Photo:Johannes Berger

インテルゾーナ推薦アーティスト

フェルナンド・ドゴイ、フィリップ・サマルティス、ダニエラ・ダリエリの 3 名はいずれも、レアンドロ・ピサノが主催し、2014 年から継続的に開催してきたリミナリアフェスティバルの参加者です。彼らが南イタリアでの滞在制作で生んできた作品を展覧します。そこには青森と近い 穏やかな土地のリズムとともに、田舎特有の問題点と共通点も見えてくるかもしれません。

([展覧会第一期](#)参加)



フィリップ・サマルティス、ダニエラ・ダリエリ
《A Future's Cookbook》
2017 Photo:Daniela d' Arielli

梅沢 英樹

梅沢英樹は近年リサーチを続ける地熱に着目し、青森での 2023 年 1 月の約 2 週間の滞在で、十和田湖をはじめとするカルデラ湖、八甲田山など、火山にまつわる場所で録音と撮影を行いました。青森の厳しい冬の環境下で捉えた氷(熱)のエナジーは、サウンドインスタレーションとして展開され、共同制作者の加瀬透が生み出すグラフィックとともに、さらなる増幅を図ります。

([展覧会第一期](#)、[イベント②](#)参加)

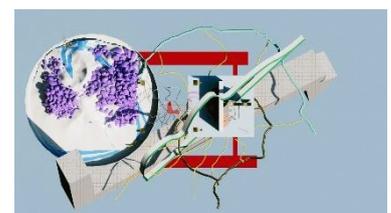


梅沢英樹《BEPPU PROJECT オープンスタジオ》
2022

藤倉 麻子

藤倉麻子は、成田鉄四郎『陸奥湾之将来』を基点に青森の海から見る地形とその成り立ち、さらにはその地で有り得た風景についてリサーチしています。生み出される虚実の混じる映像インスタレーションは、人の野望や希望が形成してきた(かも知れない)風景をめぐる旅にいきないます。

([展覧会第二期](#)、[イベント②](#)・[③](#)参加)



藤倉麻子《The Great Nine と第三物置【検証】》
2023

[お問合せ] 青森公立大学 国際芸術センター青森:村上

Tel: 017-764-5200 Fax: 017-764-5201 Mail: acac-1@acac-aomori.jp

Web: <https://acac-aomori.jp/>



Aomori Contemporary Art Centre
国際芸術センター青森

大和田 俊

大和田俊は自作《Unearth》において、石灰岩に含まれる太古の空気(二酸化炭素)が泡／音となって身体とつながりを生む状況を表現してきました。EIR ではさらに、発生させた二酸化炭素から、炭酸水を生み出し、飲むという行為を通して、大地のエナジーと身体とのつながりを生む、新たな展開を構想しています。

(展覧会第二期、[イベント②](#)・[③](#)参加)



個展「破裂 OK ひろがり」(小山市車屋美術館, 栃木, 2020)における《小屋》2020《unearth》2017の展示風景 Photo: 百頭たけし

大城 真

大城真は、青森の地をめぐりながら、人の耳には聞こえない低周波の音であるインフラサウンドを集め、インスタレーション作品を制作発表します。知覚の外にある環境にいかにして触れることができるか、文字通りの意識下にある音のエナジーを捉える方法を模索します。

(展覧会第二期、[イベント②](#)、[③](#)参加)



大城真《Solar Call (charge-discharge)》
Photo: Yasushi Ichikawa

■ イベント

[展覧会第一期]

会期 | 2023年7月8日(土)ー8月3日(木) 10:00-18:00

入場無料、会期中無休

会場 | 展示棟 ギャラリーA、B

参加アーティスト | ニコラ・ディ・クローチェ、梅沢英樹

フェルナンド・ゴドイ、フィリップ・サマルティス、ダニエラ・ダリエリ

オープニング・トーク&パフォーマンス

トーク&パフォーマンス(①)

日時 | 2023年7月8日(土)14:30-17:00

出演 | ニコラ・ディ・クローチェ、三原聡一郎
四方幸子、レアンドロ・ピサノ

会場 | 展示棟 野外ステージ (雨天時 展示棟 ラウンジ)

パフォーマンス | 三原聡一郎、レアンドロ・ピサノ

トーク1 | 四方幸子、レアンドロ・ピサノ

トーク2 | ニコラ・ディ・クローチェ

逐次通訳 | アレックス・クイーン



三原聡一郎《L'aria del giorno(本日の空気)》
2022 Photo: Sabrina Caramanico

トーク(②)

日時 | 2023年7月9日(日)14:30-17:00

出演 | 梅沢英樹、藤倉麻子、大和田俊、大城真

会場 | 展示棟 ラウンジ

自身の制作やレジデンス、作品制作のプランについて、参加アーティストがお話します。

[お問合せ] 青森公立大学 国際芸術センター青森:村上

Tel: 017-764-5200 Fax: 017-764-5201 Mail: acac-1@acac-aomori.jp

Web: <https://acac-aomori.jp/>



Aomori Contemporary Art Centre
国際芸術センター青森

[展覧会二期]

会期 | 2023年8月11日(金・祝)ー9月24日(日) 10:00-18:00

入場無料、会期中無休

会場 | 展示棟 ギャラリーA、B

参加アーティスト | ニコラ・ディ・クローチェ、大城真
藤倉麻子、大和田俊

Photo: Sabrina Caramanico

オープニング・トーク(③)

日時 | 8月11日(金・祝)14:30-17:00

出演 | 大城真、藤倉麻子、大和田俊、四方幸子

会場 | 展示棟 ラウンジ

共同キュレーター四方幸子を聞き手に、参加アーティストが自身の制作やレジデンス、今回の作品について、お話しします。

■ 開催概要

展覧会名 エナジー・イン・ルーラル

展覧会期 [第一期]2023年7月8日(土)ー8月3日(木)

[第二期]2023年8月11日(金・祝)ー9月24日(日)

*会期中無休、入場無料

アーティスト ニコラ・ディ・クローチェ(Nicola DI CROCE)、三原聡一郎、大城真、梅沢英樹、藤倉麻子、大和田俊、フェルナンド・ゴドイ(Fernando GODOY)、フィリップ・サマルティス(Philip SAMARTZIS)、ダニエラ・ダリエリ(Daniela d' ARIELLI)

会場 青森公立大学 国際芸術センター青森 展示棟ギャラリー A、B
(青森市合子沢字山崎 152-6)

開館時間 10:00-18:00 (展示棟ラウンジは 9:00-19:00)

その他 展示棟受付または事務室にて、ACAC の事業運営支援を目的とする「事業協力金(寄付金)」への協力をお願いしています。当館の活動をご理解いただき、ご寄附という形でみなさまの力強いご支援・ご協力をいただければ幸いです。

主催 インテルゾーナ文化協会/リミナリア、青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]

協力 ポリナーリア、MEdA(アクイロニア民族博物館「ベニアミーノ・タルターニア」)、マロシフェスティバル、コッレティエーボ・ゼロ、トラマンダース・アソシエーション、Vesuvio Adventures、Progetto Fiori、AIRS (アーティスト・イン・レジデンスサポーターズ)、青森公立大学芸術サークル ほか

助成 令和5年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業

後援 NHK 青森放送局、青森テレビ、RAB 青森放送、青森朝日放送、青森ケーブルテレビ、エフエム青森、ABH ラジオ、コミュニティラジオ局 BeFM、東奥日報社、陸奥新報社、デーリー東北新聞社、イタリア文化会館東京

企画 レアンドロ・ピサノ(Leandro PISANO)、四方幸子、村上綾 (ACAC 学芸員)

*展覧会・イベントは変更となる場合があります。最新情報についてはお手数ですが web サイトや各種 SNS 等をご確認ください。

[お問合せ] 青森公立大学 国際芸術センター青森:村上

Tel: 017-764-5200 Fax: 017-764-5201 Mail: acac-1@acac-aomori.jp

Web: <https://acac-aomori.jp/>Aomori Contemporary Art Centre
国際芸術センター青森